

# STYLING

## MONO

「ジープ」の名前の由来は諸説ある。  
ひとつは「汎用」を意味する  
「ジェネラル・パーパス」の頭文字GPを  
早口で発音したという説。もうひとつは  
漫画ボバイに出てくる万能な架空動物  
「ユージーン・ザ・ジープ」から取った、  
という説。この二説がメディアでもよく  
語られているが、その謎もまた魅力だ。



### VOL.31 JEEP SINCE 1941~

●[ジープ]

Photo / JEEP

US.ARMY

Text / Teruhiko Doi(WPP)

# Real

オフロードを専用の乗り物で疾駆する喜びは格別だ。整備された道路を走るためのオンロード・カーとは違い、オフロードあるいはラフロードを走るための乗り物は、男の冒険心を掻き立てる存在である。その代表的存在がジープであり、『ジープ』とわれわれが普通に呼ぶ四輪駆動車は、れっきとした製品名である。そう、クリネックスやコークがそれぞれティッシュペーパーとコーラを指す一般名詞として使われるのと同じことである。SUVを始めとする、似たようなクルマを『ジープ』と呼んでいることは、実は間違いであり、『ジープ』はクライスラーのジープのみを指すべき呼称なのだ。登場時からその強烈な個性で他の追随を許さなかった名車、リアル・ジープに迫ってみよう。





アウトドアイメージが強い  
ジープではあるが  
コンセプトualなスタイリングは  
都市生活のシーンにおいても  
なんら違和感はない。  
写真は「ラングラー アンリミテッド」  
(写真はUS仕様)。

# STYLING

## MONO

ラングラーと並んで存在感を発揮した  
チェロキーのデビューは1984年。  
初代XJ型は1990年代の日本で  
年間1万台以上のヒットを記録した。  
2001年以降は本国では「リパティ」と  
名称変更されたが、日本ではKJ型もKK型も  
親しみを込めてチェロキーと呼ばれる。



Real



軍用車からスタートしたジープだが  
1987年からジープ・ブランドで  
発売された、本格的な  
クロスカントリーカーが  
『ジープ・ラングラー』である。  
開発はジープCJの後継車として  
行われ、延長されたホイールベース、  
四角いヘッドライト、大型化され  
視野の広がったフロントガラスなど、  
大幅なデザイン変更がなされた。  
2007年には  
従来モデルよりもさらに大型化された  
ジープJKが発売され、  
新たに4ドアモデルが追加されるなど  
SUV化が進められた。  
しかし何とんでもこのモデルは  
チェロキー、グランドチェロキー、  
コマンダー、パトリオットといった  
車種とは異なり、1941年登場の  
オリジナルジープの直系という点が  
ジープファンにはたまらない魅力。  
以前のモデルに比べて後部座席や  
荷室のスペースを拡大し、  
使い勝手が良くなっている。  
さらに「ラングラー アンリミテッド」  
というモデルは4ドア仕様となり  
定員も5名になってさらなる世界観が  
広まったジープとなった。  
リアルなジープの血脈を受け継ぐ  
名車の魅力に溢れている。

# STYLING

## MONO

日本の自動車メーカーがジープをライセンス生産していたことがある。ひとつはトヨタのBJ型ジープで製造は1951年~1955年。もうひとつは1953年以降、1990年代まで作られた三菱のジープ。ランクル、パジェロの萌芽といえるだろう。



第二次世界大戦前までの戦場における乗り物の主役は、サイドカー付きバイクだった。しかし、1941年にアメリカ陸軍のオファーによって誕生した「ジープ」の機動力は、戦場における軍のあり方そのものを変え、その存在となった。その機動力とは、小型で軽量、4WD、ドアや屋根（幌）が簡単に取り外しが出来る。また修理も容易で部品調達や代替品の利用も可能というフレキシビリティに溢れていた。当初、米軍のオファーに呼応して試作製造を実行したのはフォード社、アメリカン・バンタム・カムニユフアクチュアリング社、そしてウィリス・オーバーランド社の3社。その中でウィリス・オーバーランドの「クオード」というモデルが大量に発注を受け、改良型のMA、その進化系のMBを製造し、伝説のブランド「Jeep」が誕生することになった。

他の追随を許さず、やがてアウトドア・ビークルの代名詞的存在として「ジープ」は世界中の人に認識されるクルマとなった。その認知度の高さは、ジープに似た他社のクルマも「ジープ」の追随を許さず、やがてアウトドア・ビークルの代名詞的存在として「ジープ」は世界中の人に認識されるクルマとなった。その認知度の高さは、ジープに似た他社のクルマも「ジープ」

### 四輪駆動の価値観はすべてジープから生まれた

ジープはリアルなジープにのみ使われるべき呼称である。現代では多様化したSUVが、それこそ世界中の自動車ブランドから発売されているが、その起源にジープのコンセプトがあることを感じさせるクルマは少ない。ジープのノウハウを基にライセンス生産されたものは「ジープ」という呼称を許されていないが、しかし、間違っではない。ジープとはオンリーワンの存在であり、アスロッドゲリルのデザインだけが、ジープと呼べる存在なのである。

現在ラインナップされているジープは「ラングラー」「パトリオット」「コンパス」「チェロキー」「グランドチェロキー」である。どうせ乗るなら本物に乗りたいたいものだ。





↑第二次世界大戦でデビューしたジープは軍用車両の代名詞でもあった。  
Photo / US.ARMY  
→戦場での機動力はコンシューマー向けの宣伝効果があり、農地や森林における主役の座は完全にジープのものになった。




1941  
  
WILLYS MA


1947  
  
WILLYS Jeep wagon

1955  
  
Jeep M38 A1

1963  
  
Jeep Wagoneer

1977  
  
Jeep CJ-7 Renegade

1984  
  
Jeep Cherokee

1994  
  
Jeep Wrangler

# STYLING



中・小型車メーカーだったウィリス・オーバーランド社。

## MONO



ジープに関するお問い合わせは  
① クライスラー日本  
☎ 0120-712-812  
jeep-japan.com

リアルでなければ味わえない、本物のパフォーマンスとスタイリングに酔いしれよう。



**Jeep Compass**

パトリオットとは兄弟車のような関係。デザインのモチーフはグランドチェロキーであり、ジープ・テイストのシティクルーザー。価格298万円。



**Jeep Cherokee**

現行のKK型は洗練された快適SUV。ラングラーのオフロード性能を受け継ぐ本格派でもある。価格348万円～。



**Jeep Patriot**

モノコックボディに四輪独立懸架式サスペンションやエンジン横置きレイアウトなど乗用車のパッケージングを採用した入門モデル。価格258万円～。



**Jeep Grand Cherokee**

時代の要請から誕生した圧倒的ラグジュアリー性を誇るSUV。オフロード性能はもちろん、オンロードの性能も向上させた快作。価格398万円～。



**Jeep Wrangler Unlimited**

初代ジープの血統を受け継ぐ正統の後継車。オフロードの雄でありながら、都市生活での存在感を最近、楽しむ人が増えつつある。価格368万円～。